

日本心エコー図学会教育委員会
地方における小規模講習会に関する報告

2017/08/03

2017年6月24日日本循環器学会近畿地方会において、日本心エコー図学会と共催で「研修医のための教育セッション」を開催したので報告する。

1) 概略は以下の通り

講習会名： 日本循環器学会近畿地方会「研修医のための教育セッション」

タイトル：「知っているのと役に立つ心エコーの実践」

企画・共催： 日本循環器学会近畿地方会、日本心エコー図学会

日時： 2017年6月24日(土) 13:35-15:05

会場： 大阪国際交流センター2F さくら西

対象： 初期研修医、後期研修医、循環器内科専攻医

超音波機器協力：株式会社フィリップス エレクトロニクス ジャパン

参加者数： 90名

内容： 救急対応を要する病態（胸痛・呼吸困難）について、実際の症例を提示し心エコー図検査診断の有用性を解説した。

- ・進行：大西哲存（兵庫県立姫路循環器病センター）大西俊成（大阪大学）
- ・症例提示：胸痛編では兵庫県立姫路循環器病センター循環器内科専攻医高橋悠医師が実際に救急外来で対応した急性心筋梗塞症例を提示し、心エコー図検査所見を解説した。呼吸困難編では、大阪大学循環器内科亀田聡士医師がうっ血性心不全症例を提示し、ドプラ所見を中心とした心エコー図指標の意義を解説した。
- ・実演解説：株式会社フィリップス エレクトロニクス ジャパンにご協力いただき、機器を無料貸し出しいただいた。心エコー図検査機器を会場前中央に据え、実演画像を供覧した。実演は胸痛編・呼吸困難編ともに神戸医療センター中央市民病院太田光彦先生が行った。
- ・レクチャー&コメンテーター：西宮渡辺病院兵頭永一先生（心筋梗塞の合併症）、大阪市立総合医療センター阿部幸雄先生（心不全症例におけるTMFの解釈）にそれぞれのセッションでレクチャーをいただき、会全体を通してのコメントもいただいた。

2) プログラム

- 日本循環器学会近畿地方会会長坂田泰史先生から開会の言葉（5分）
- セッションの導入：救急外来・当直時の心エコー図検査の重要性（兵庫県立姫路循環器病センター大西哲存）5分

◇胸痛編（約 35 分）

- ・急性心筋梗塞症例の提示。
- ・胸痛患者の心エコー図検査の説明：壁運動異常観察のポイントの解説、冠動脈支配領域に応じた壁運動異常を心エコー画像で提示、壁運動異常のない胸痛患者、壁運動異常はあるが何かおかしい症例：たこつぼ心筋症、心筋炎など
- ・エコー実演：太田先生から各基本断面の描出の仕方と操作のコツ。
- ・質疑応答・コメンテーターの発言
- ・兵頭永一先生によるレクチャー：AMI 合併症（MR、心嚢液貯留、心不全、心室中隔穿孔、右室梗塞）

◇呼吸困難編（約 35 分）

- ・急性心不全症例を提示。
- ・心不全患者の心エコー図検査のポイント：ドプラ法の解釈も含めて、TMF の意義、肺高血圧の評価方法。
- ・エコー実演：太田先生から、TMF の測り方、TRPG、IVC を使った右室・右房圧の評価。
- ・質疑応答・コメンテーターの発言
- ・阿部幸雄先生によるレクチャー：TMF のレクチャー

●日本心エコー図学会中谷敏理事長から参加者への挨拶

●進行よりセッション終了のことば

5) アンケートについて

25 名からアンケートを回収することができた。うち、10 名が初期研修医、2 名が後期研修医、2 名が循環器内科専攻医、2 名が 10 年目未満の循環器内科医、7 名が 10 年目以上の循環器内科医であった。回収率は低かったが、実際に参加した初期研修医の多くからアンケートを得られたように思う。本セッション開催の情報は、学会ホームページからが 8 名、学会冊子からが 6 名、知人に聞いて知った方が 6 名、当日来て知った方も 4 名いた。

セッションが役立ったかどうかを 5 点満点で尋ねたところ、5 点満点が 9 名、4.5 点が 3 名、4 点が 8 名、3 点が 5 名であり、比較的高い評価を受けたと思う。また、初期研修医からは 4 点以上が多く、経験年数の多い医師からの評価に 3 点が多かった。

自由記載の感想などの詳細を PDF にまとめたので添付する。

6) まとめ

本セッションは、日本循環器学会近畿地方会が研修医教育のために毎回設けているプログラムである。今回は初めて日本心エコー図学会と共催し「心エコー図検査の有用性および重要性」を、研修医に知ってもらい、実際の臨床現場で実感してもらうことを目的とした。タイトルは「知っている

と役に立つ心エコーの実践」と名付けた。

会場はほぼ満席となったが、研修医・専攻医は4-5割程度であり、約半数は指導医レベルの医師であったように思う。

アンケートに関して、実施と記載返却の願いを再三したが、およそ90名の参加者の中から25名からしか回収できなかったのは今後の課題であろう。

セッション後半の質疑応答では、研修医の先生からの熱い質問もあり、会の雰囲気盛り上がった。今後も同様のセッションを日本各地で行い、「心エコーの力」を研修医・若手医師に広めていくことが、各施設での適切な緊急時初期対応につながり、ひいては日本の救急医療、循環器医療の質の向上に関わるため、非常に重要な我々の任務であると考えている。今回のノウハウが今後の委員会活動の役に立てば幸いである。

文責：兵庫県立姫路循環器病センター 循環器内科 大西哲存

アンケートの概要

1. あなたはどのポジションに当てはまりますか？

初期研修医 後期研修医 循環器内科専攻医 心臓血管外科専攻医 循環器内科医10年目未満
循環器内科医10年目以上 その他()

2. 今回の「研修医のための教育セッション」は、どの方法で情報を得られましたか？

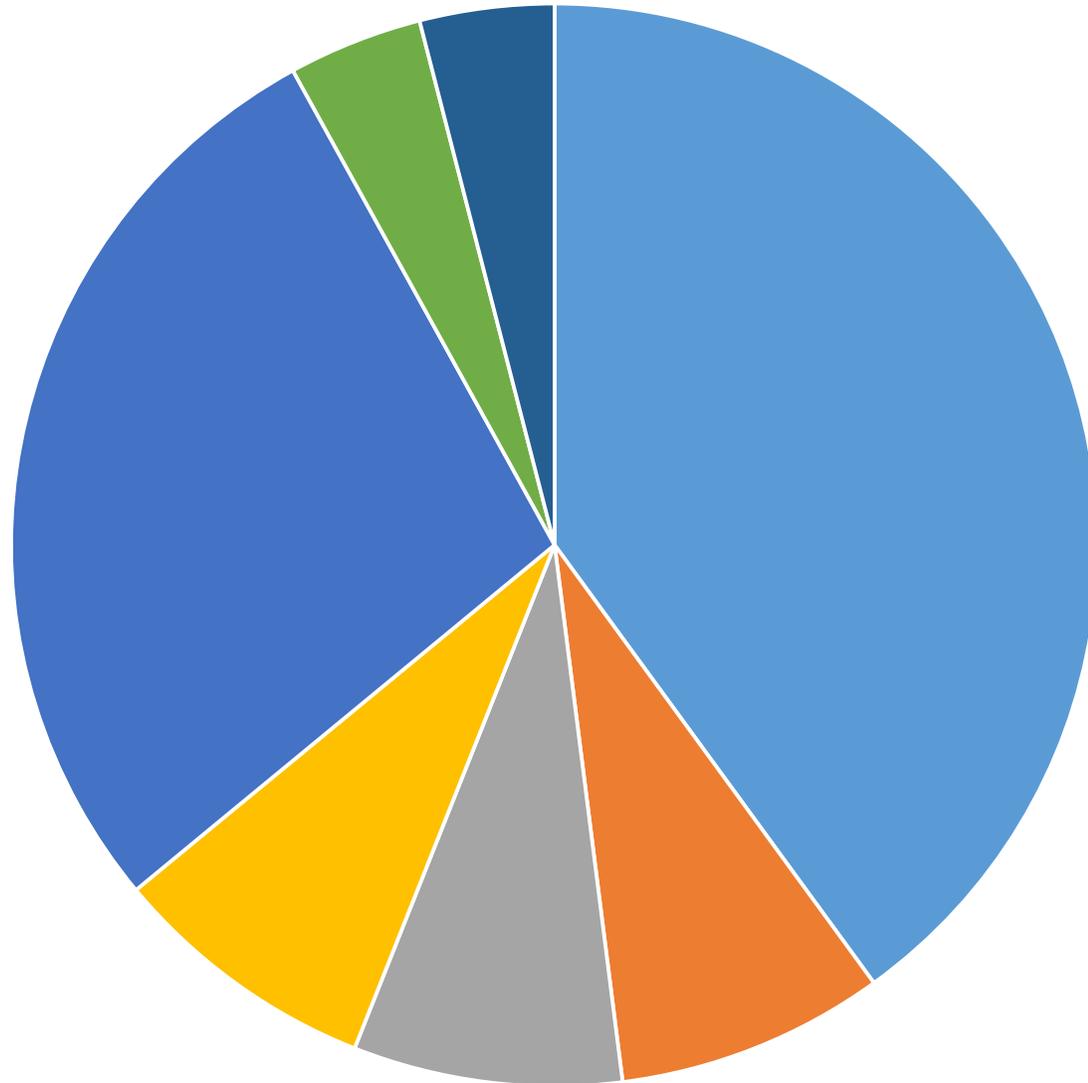
①学会冊子 ②学会ホームページ ③当日来て知った ④知人に聞いて ⑤ その他()

3. 今回の「研修医のための教育セッション」は、あなたにとって役立つ講義でしたか？
とても役立った ⑤ ④ ③ ② ① 全く役立たなかった

特に役立った内容についてお書きください(自由記載)。

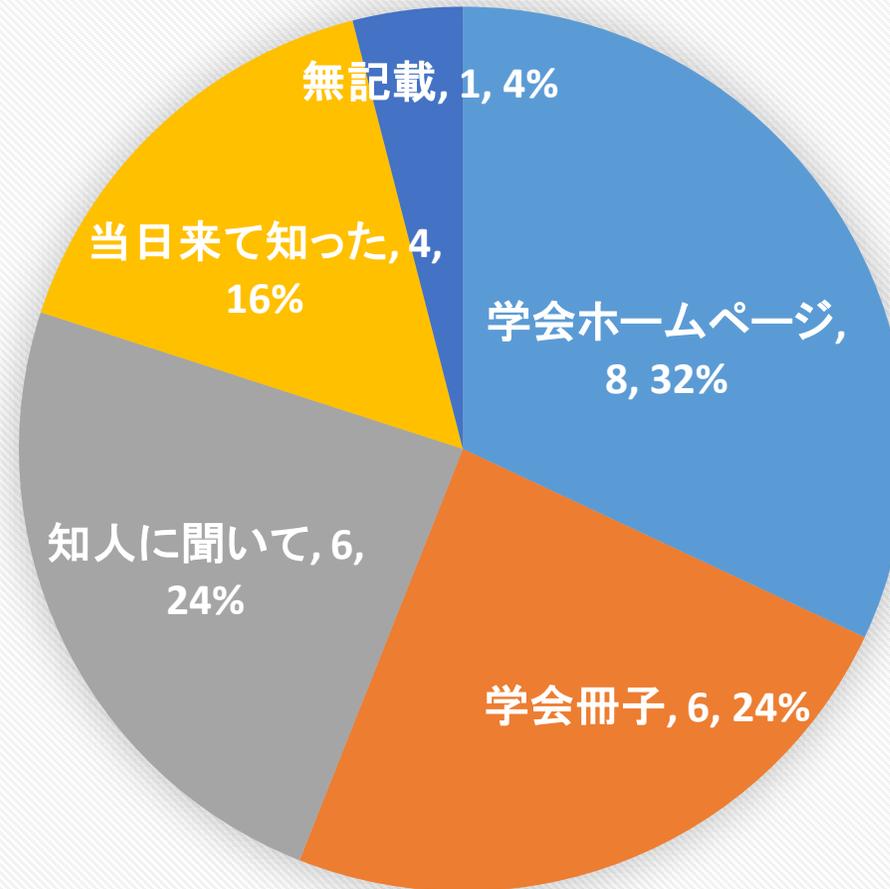
4. 別の機会に、こんな公開講座を企画して欲しいということがありましたらお書きください(自由記載)。

構成



- 初期研修医10名
- 後期研修医2名
- 循環器内科専攻医2名
- 循環器内科医10年目未満2名
- 循環器内科医10年目以上7名
- その他1名
- 記載なし1名

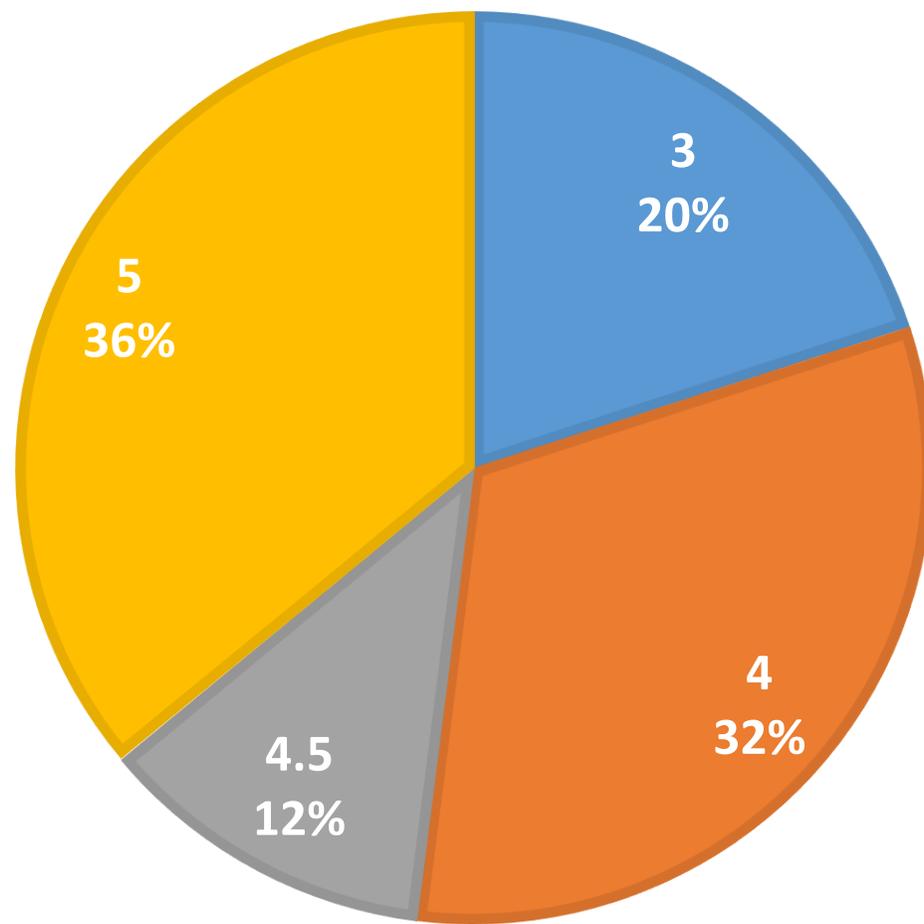
情報源



■ 学会ホームページ ■ 学会冊子 ■ 知人に聞いて ■ 当日来て知った ■ 無記載

役立ち度5点満点

■ 3 ■ 4 ■ 4.5 ■ 5



特に役だった点（自由記載）

- ◆ 撮り方のコツを聴けて良かった
- ◆ E/Aの話が良かった
- ◆ 救急で見るべきポイントがわかった
- ◆ TMFに関し詳しくわかった
- ◆ 理論立てられていてわかりやすかった
- ◆ E/Aの話が役に立った
- ◆ 症例提示が良かった
- ◆ TMF
- ◆ Liveが良かった
- ◆ 具体的な心エコーの撮り方がわかった
- ◆ 限られた時間で]必要な情報が得られた
- ◆ TMFの解説
- ◆ PEFとREFのTMFの見方の違い
- ◆ デモンストレーションが良かった
- ◆ 心不全で見るべき指標が役に立った

感想および今後の期待・希望

- ◆座長の進行が素晴らしかった
- ◆心電図の読み方
- ◆心不全のエコー
- ◆TDIの解釈
- ◆アドバンス編を聴きたい
- ◆スクリーニングとしての壁運動評価の数値化